



舞台と客席の距離の近さ生む一体感の中、公演を行う劇団員

念願の芝居小屋で初公演

ふるさと発信株式会社・ユニット公演

劇団「ふるさと発信株式会社」は3月5、6の両日、新町集会所「おらいえ」でユニット公演「ぱぱぱ」を上演しました。

おらいえは、旧消防会館を村上直樹代表の家族が取得し改装。消防法の設備の不備で一度は延期になりましたが、消防設備を整え、照明や音響など舞台設備をさらに充実させ、こけら落とし公演を実現しました。

舞台と近い30席の客席の「芝居小屋」で、観客は、3人の役者が繰り広げる公演を楽しみました。

家族みんなで104歳祝う

市最高齢者・滝川ヨネさん誕生日を祝う会

市の最高齢者滝川ヨネさん(町組)は3月8日、104歳の誕生日を迎え、田頭公民館でお祝い会が開かれました。

家族15人をはじめ、入所するむらさき苑の職員ら約30人が参加。花束や「104」の数字をかたどったろうそくを立てたケーキなどが贈られました。

滝川さんは「ありがとうございます」と元気な声でお礼の言葉を述べると、家族との記念写真ではカメラに向かってピースサインを出して笑顔を見せました。



家族に囲まれ笑顔を見せる滝川ヨネさん(写真前列中央)

518人が学びやとの別れ

市内小中学校で卒業式

3月は卒業のシーズンです。市内小中学校の卒業式は、3月12日の安代中学校を皮切りに19日までそれぞれ行われました。

3月14日に行われた西根第一中学校(中村晴彦校長、生徒152人)では、保護者や先生、在校生らに見守られ、53人の卒業生は、これから始まる新しい生活に胸を膨らませ、3年間過ごした学び舎を旅立ちました。

今年の市内小中学校の卒業生は、小学校が11校228人、中学校が5校290人の計518人でした。



授与された卒業証書を保護者に手渡しました(西根第一中学校)



8レーンの大きな雪の滑り台で歓声をあげる子どもたち

八幡平から冬の魅力発信

安比・八幡平ゆきフェスティバル2011

「安比・八幡平ゆきフェスティバル2011」は2月19日から27日までの9日間、さくら公園、安比高原、八幡平リゾートなどで開かれました。

会場では、8レーンの雪の滑り台やほうれんそうなど市産の8種類の食材を使った新名物料理「カンカン焼き」、888発の花火など、八幡平の「8」と形が似た雪だるまにちなんだ多彩なイベントが展開されたほか、市民が作った雪だるまが市内を彩り、訪れた観光客は、冬の八幡平市の自然や食を満喫しました。

また、2月27日には「世界最大のスキーパレード」も八幡平リゾートパノラマスキー場で行われ、今年は232人の参加者が縦1列で同時に滑り、昨年度の184人のギネス世界記録を見事更新しました。



232人が縦1列で滑走し、昨年3月に樹立したギネス世界記録を更新

子どもたち友好の証示す

名護市「少年の船」が八幡平市を訪問

友好都市である沖縄県名護市の「名護市少年の船」は2月23日から25日まで本市を訪れました。

本年度は、小中高生20人をはじめ25人が来訪。24日には、1月に名護市を訪れた「八幡平市少年の翼」の団員と再会を果たし、八幡平リゾートで交流会を行いました。子どもたちは、安代そば道場の人を講師にそば打ちを体験し、打ったそばを味わったほか、同パノラマスキー場で行ったスキー体験では、少年の翼団員の手ほどきを受け、初めてのスキーを楽しみました。



少年の翼団員の指導を受け、スキーに挑戦する名護市の子もたち

すなっぷギャラリー



松野小学校卒業式
(3月17日、松野小学校)



西根中学校卒業式
(3月15日、西根中学校)



寺田公民館まつり・寺田喜劇団公演
(3月6日、寺田公民館)



地産地消と感謝の集い2011
(3月4日、友好都市交流センター)



市教育委員会児童生徒表彰式・田頭小6年
吉田皇さん (3月3日、田頭小学校)